

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【公開番号】特開 2007-248606 (P2007-248606A)  
 【公開日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-037  
 【出願番号】特願 2006-69217 (P2006-69217)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

G 0 3 G 21/18 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/00 5 5 0

G 0 3 G 15/00 5 5 6

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 3 月 9 日 (2009.3.9)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

記録媒体に画像を形成する電子写真画像形成装置であって、電子写真感光体と、前記電子写真感光体に作用するプロセス手段と、前記電子写真感光体の一端に設けられたカップリング部材と、を有し、前記電子写真画像形成装置の装置本体に取り外し可能に装着されているプロセスカートリッジと、前記カップリング部材と嵌合するカップリング凹部を有する本体駆動ギアであって、前記電子写真感光体のスラスト方向に移動可能で、かつ前記カップリング凹部と嵌合した前記カップリング部材により前記電子写真感光体を回転する本体駆動ギアと、を有する電子写真画像形成装置において、

回転駆動ギアと、

前記回転駆動ギアにより回転される回転伝達ギアであって、前記電子写真感光体のスラスト方向に移動可能で、かつ前記本体駆動ギアに回転力を伝達する回転伝達ギアと、

前記本体駆動ギアのスラスト方向の移動を規制するとともに前記回転伝達ギアのスラスト方向の移動を規制するスラスト規制部材と、  
 を有し、

前記回転伝達ギアは、前記回転駆動ギアより回転力を受ける被回転ギア部と、前記被回転ギア部で受けた回転力を前記本体駆動ギアに伝達する伝達ギア部と、を有し、

前記スラスト規制部材に対して前記回転伝達ギアが移動するスラストガタを  $c$ 、前記スラスト規制部材に対して前記本体駆動ギアが移動するスラストガタを  $b$ 、前記カップリング部材と前記本体駆動ギアのカップリング凹部との前記スラスト方向の嵌合量を  $a$  とするとき、 $c > b - a$  であることを特徴とする電子写真画像形成装置。

【請求項 2】

前記駆動ギアは、前記電子写真感光体の正回転時に、前記回転伝達ギアの伝達ギア部より前記カップリング部材と嵌合する方向にスラスト力を受けるねじれ角を有するハスバギアであり、前記伝達ギア部は、前記駆動ギアと噛み合うハスバギアであり、前記被回転ギア部は、前記電子写真感光体の正回転時に、前記回転駆動ギアより前記スラスト規制部材と当接する方向にスラスト力を受けるねじれ角を有するハスバギアであることを特徴とする請求項 1 に記載の電子写真画像形成装置。

## 【請求項 3】

前記回転伝達ギアは、前記被回転ギア部の基準ピッチ円直径が前記伝達ギア部の基準ピッチ円直径より大きいことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子写真画像形成装置

。